

経営法学科カリキュラム・ポリシー

法学部 ディプロマ ・ポリシー (DP)	コンピテンス	コンピテンシー	法学部 カリキュラム ・ポリシー (CP)	経営法学科カリキュラム・ポリシー	経営法学科科目〔学年〕
＜自ら学ぶ＞					
DP1	豊かな教養・ 知識に基づく 高い倫理観	社会人たるに必要な 教養と社会科学の知 識を修得し、法令遵 守の精神と高い倫理 観に基づいて、自ら の使命・役割を果た すことができる。	CP1	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会における法と企業の役割を理解し説明することができる。 ● 日本大学の学則に従って学生生活を過ごすことができる。 ● 適切な言葉遣い、態度、行動をとることができる。 ● 他者の人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる。 	すべての経営法学科科目
DP2	日本及び世界 の社会システ ムを理解し説 明する力	日本及び世界の法、 政治、行政、経済及 びジャーナリズムの しくみと、それが直 面している問題を理 解し、説明すること ができる。	CP2	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外の経営活動・企業活動の現状を理解し、経営と法の視点からそれらの内容を分析し説明することができる。 ● 国内外の経営活動・企業活動をめぐる社会的問題について、情報収集により得た新しい知見を明確に説明することができる。 ● 国内外の裁判手続及び裁判外紛争解決手段に関する基本的知識を身につけ説明することができる。 	企業法務Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 経営訴訟法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 民事訴訟法〔2年〕 国際取引法AⅠ・Ⅱ〔1年〕 国際取引法BⅠ・Ⅱ〔2年〕 国際契約法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 国際民事紛争処理法Ⅰ・Ⅱ 〔3年〕 国際税法Ⅰ・Ⅱ〔3年〕 国際経営論Ⅰ・Ⅱ〔3年〕

					外国法A・B（英米・独・仏・EU・アジア）Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 外国法C（英米・独・仏・EU）Ⅰ・Ⅱ〔3年〕 ゼミナール〔3～4年〕など
<自ら考える>					
DP3	論理的・批判的思考力	社会通念をふまえ、論理的、科学的、合理的かつ批判的な考察を通じて、新たな「知」の創造に寄与することができる。	CP3	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外の経営活動・企業活動に必要な基礎的知識を積極的に身につけ、論理的かつ批判的に評価することができる。 ● 国内外の経営活動・企業活動に関する倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいてビジネスプランを立案することができる。 ● 常に学問に対して前向きな姿勢を忘れず、生涯にわたり向上を図ることができる。 ● 国内外の経営活動・企業活動の基礎的知識を身につけ、新たな知見とイノベーションを生み出すことができる。 	企業評価論Ⅰ・Ⅱ〔3年〕 企業不祥事論Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 国際関係法〔私法系〕AⅠ・Ⅱ〔2年〕 経済行政法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 経済法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 知的財産法A～D（A（特許・実用新案）／B（意匠）／C（商標・不正競争）／D（著作権））Ⅰ・Ⅱ〔1年（A）／2年（B・C・D）〕 ゼミナール〔3～4年〕など
DP4	問題発見・解決力	社会・共同体のさまざまな営みに自ら積極的にコミットする中で、事象を注意深	CP4	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外の経営活動・企業活動における経営と法に関する体系的知識を修得し、実務的観点に立って問題を解決することができる。 	企業法務Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 企業会計法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 経営訴訟法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 国際経営法学Ⅰ・Ⅱ〔2年〕

		く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。		<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外の経営活動・企業活動における経営と法に関する基礎的知識に基づいて、事業が直面しうる問題点を評価し、その改善計画を立案することができる。 ● 国内外の経営活動・企業活動における経営と法に関する情報を収集・分析し、得られた情報をもとに問題点を抽出することができる。 ● 国内外の経営活動・企業活動について、経営と法の視点からみた問題点に共通する事象を抽出・発見し、列挙することができる。 	法情報学Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 サイバー法Ⅰ・Ⅱ〔4年〕 情報システム論Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 経営法学特殊講義（ビジネス法学入門）Ⅰ・Ⅱ〔1年〕 経営法学特殊講義（企業と労働）Ⅰ・Ⅱ〔1年〕 ゼミナール〔3～4年〕など
＜自ら道をひらく＞					
DP5	挑戦力	法規範をはじめとする社会システムに関する専門的知識を基に、あきらめない気持ちをもって、より良い社会・共同体の創造に果敢に挑戦することができる。	CP5	<ul style="list-style-type: none"> ● 最新の国内外の経営活動・企業活動における問題点に関する知識を修得し、未来を見据え自らが取り組むべき課題を探求することができる。 	税法Ⅰ（基礎理論Ⅰ・Ⅱ）〔2年〕 マーケティング戦略論Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 インベスター・リレーションズⅠ・Ⅱ〔3年〕 資本市場論Ⅰ・Ⅱ〔3年〕 コーポレート・ガバナンス論Ⅰ・Ⅱ〔1年〕 知的財産法A～D（A（特許・実用新案）／B（意匠）／C（商標・不正競争）／D（著作権））Ⅰ・Ⅱ〔1年（A）／2年（B・C・D）〕 ゼミナール〔3～4年〕など

DP6	コミュニケーション力	多様な伝統・文化・環境に育まれた他者の気質，感性及び価値観を理解・尊重し，社会・共同体の中で積極的にコミュニケーションを実践し，自らの考えを伝えることができる。	CP6	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外の経営活動・企業活動に参加した際に直面する課題について，どのように対応すべきかを具体的に述べ，実践することができる。 ● 世界に発信できる語学力を身につけ，コミュニケーション能力を高めることができる。 ● 国内外の経営活動・企業活動の発展に貢献することの必要性を理解し，自らの考えを述べることができる。 	<p>コミュニケーションの科学 A・B [1年]</p> <p>メディア法Ⅰ・Ⅱ [1年 (Ⅰ) / 2年 (Ⅱ)]</p> <p>法律外国語A~CⅠ・Ⅱ [1年 (A) / 2年 (B) / 3年 (C)]</p> <p>知的財産英語 [3年]</p> <p>ビジネスロー文献購読Ⅰ・Ⅱ [2年]</p> <p>ビジネス・キャリア演習Ⅰ・Ⅱ [2年]</p> <p>ゼミナール [3~4年] など</p>
-----	------------	--	-----	--	---

DP7	リーダーシップ・協働力	社会・共同体のさまざまな活動において、より良い成果を上げるために、お互いを尊重し、自らすすんで協議するとともに、リーダーとして協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	CP7	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外の経営活動・企業活動における協働プロジェクトを実践するために、外部の協働事業者との信頼関係を形成することができる。 ● 経営強化と予防法務に貢献する者として、幅広い教養と豊かな感性を身につけることができる。 	労働法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 企業法務Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 経済行政法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 経済法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 金融商品取引法Ⅰ・Ⅱ〔3年〕 金融法Ⅰ・Ⅱ〔3年〕 企業会計法Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 ビジネス・キャリア演習Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 ゼミナール〔3～4年〕など
DP8	省察力	他者による評価を謙虚に受け止め、自己の活動がより良い社会・共同体の創造に貢献することができたかを振り返ることにより、生涯にわたり、社会人としての自己を高めることができる。	CP8	<ul style="list-style-type: none"> ● 他者や専門職からの助言を受け容れ、自己学習への意欲を高め、生涯にわたって向上を図ることの必要性と方法を説明することができる。 	ビジネス・キャリア演習Ⅰ・Ⅱ〔2年〕 ゼミナール〔3～4年〕など

経営法学科 学年（段階）ごとの目標

年次	目標
1年次 《1段階》	・日本法の基本的体系を学び、社会における法律と企業の役割を理解し説明することができる。
2年次 《2段階》	・国内外の法律・経営・金融・知的財産に関する専門的基礎知識を学び、語学力及びリサーチスキルを伸ばし、ビジネスの現場で生じている諸問題とその予防・解決手段を理解し、説明することができる。
3年次 《3段階》	・国内外の法律・経営・金融・知的財産に関する応用的・発展的知識を学び、語学力及びリサーチスキルをさらに高め、ビジネスの現場で生じる諸問題を自ら発見し、その予防・解決手段を自ら創造し提案することができる。
4年次 《4段階》	・国内外の法律・経営・金融・知的財産に関して学んだ知識を深め、語学力及びリサーチスキルをいっそう発展させ、ビジネスの現場において取り組むべき課題を明確にし、各自の進路を追求することができる。